



# 久賀高校同窓会報特集号

福祉科は地域の要望から開設された経緯があります。周防大島に公立高校を残すためにも福祉の灯を消してはなりません。

平成 27 年から福祉系の大学や専門学校を卒業しても、国家試験合格が必須になります。高校 3 年間の最短で介護福祉士の受験資格がとれる選択肢を残すべきです。

現在二つに分かれている校舎を、平成二十六年四月に安下庄校舎に統合し、普通科と地域創生科に改編、空いた久賀校舎には、高校卒業後、さらに専門性を身につける福祉専攻科を新たに設置し、三学科とも生徒は全国から募集する。という県教委案が報道されました。

周防大島高校改編の考え方は、島から公立高校を無くさぬ方策が基本

県教委の改編案のうち、地域創生科の新設に反対はしません。ただし、地域創生科の学科（カリキュラム）の中に、福祉施設や寮が完備されている久賀の地に福祉科を残し、さらに専門性を身につける福祉専攻科の設置を望みます。



文部科学省の福祉系高校における介護福祉士の養成について、職業教育の意義や今日的意義を示し、その必要性が記述されています。

特に、周防大島は高齢化の島であり、元気・にこにこ安心の島づくりのグランドビジョンからも、福祉特区の申請も可能と考えられます。島の英知を結集しようではありませんか

我々の情報収集や調査によると、鳥取県や近隣県で高校福祉科設立の要望が多数あります。

なぜ、山口県だけが時代に逆行するのでしょうか！現在、我が国の 65 才以上人口は 2960 万人、15 年先は 3667 万人。人口減少から高齢化割合が急激に増加します。

全国の福祉専攻科を分析して見ると、専攻科のある高校は、茨城高萩市の第一学院高校、沖縄の星槎国際高校、札幌の池上学院、新潟長岡市の英智ウィル学院、全国各地の自然学園高校、青森の光星学院、前橋市の群馬社会福祉専門学校専攻科、NHK 学園高校、近くでは山口中村学園、松山城南高校があり、全国から生徒を募集とありますが、通常、近くの高校に通学すると考えられます。また、福祉専攻科のある学校を分析すると通信制も併設しています。

調査結果から、授業料も入学金+授業料+特別指導料等=63 万円~100 万円が多く、周防大島高校専攻科の授業料を安くすれば、予備校や各学校からの反発が予想されます。全国から生徒を募集しても、授業料のほか寮経費がかかり、魅力ある高校にするためには、かなりの努力援助が必要になります。

今、周防大島に何かが起こっている。何が問題なのか！現実を正しく認識しよう

## 安下庄の地で周防大島高校が存続するのでしょうか！

「一見、玉虫色」の改編案、

県教委の説明では、平成 19 年の介護保険士法改正、平成 23 年に成立した、介護サービスの基盤強化のための一部を改正する法律の施行により、カリキュラムがきつくなったことが、福祉科を廃止する理由という。

周防大島高校久賀校舎福祉科は、二十数年前、将来、島は少子高齢化により高校がなくなることを心配した、岡村友三郎氏（当時、山口県教育委員長）、松永副知事、浜本研一県教育次長、藤本教治氏（久賀高校事務長）が中心となり、全県から入学できる福祉科の新設を建白し、平成 4 年、中国・四国地方でトップ切り開校した経緯があります。

同窓会や地域の要望をくみ取り、設立に尽力され、礎を築かれた先人の名誉のためにも「福祉の灯」を消してはなりません。

確かに、安下庄校舎への統合は、地元で賛否両論があるのは事実ですが、設置場所の判断基準の第 1 は、**島から高校を無くさない改編であるべきと考えます。**

改編案の疑問点は、

- ① 地域創生科や、福祉専攻科の新設に伴う施設の増設がない改編案から判断すれば「寮や野球グラウンドが整備された久賀の地が最良であり、全国から人を集めるならなおさら、本土に近い場所に集約すべきです。**久賀の寮から安下庄校舎へ通学させるのでしょうか？**
- ② 高校で介護福祉士の資格を取りたい生徒の希望を除かないでほしい。
- ③ 平成 27 年から福祉系の大学や専門学校を卒業しても、国家試験合格が必須になります。高校 3 年間の最短コースで介護福祉受験資格が取れる選択肢を残すべきです。
- ④ 現在より高齢化が進み介護福祉士の需要が増すため、福祉科を廃止する理由にはならない。
- ⑤ 他の県において、専攻科の縮小・廃止が多く発生し、授業料の値上げも発生している。
- ⑥ 周防大島高校専攻科は高校卒業資格のため、大学への編入が認められない。
- ⑦ **養成ルート（福祉系大学や専門学校）が多数存在し、全国から生徒を募集するシミュレーションが示されていません。また、地域創生科のカリキュラムも示されていません**
- ⑧ 他の福祉科高校の動向も示されていません。
- ⑨ **【介護福祉士は介護を支える人材として不可欠です。高齢者介護を通じて芽生えた（福祉）への興味、関心、意欲を高校段階で開花させることは、教育上極めて重要】との教育改革国民会議の報告・提言もある。**
- ⑩ 周防大島町の高齢化率は、現在、47.4%であり、山口県全体27.5%と比較して20ポイント高く、高齢化率の推移から福祉の人材ニーズは更に高まっています。
- ⑪ 上記の理由等から、周防大島町高齢者モデル居住圏構想として、21世紀を先取りした魅力あるまちづくり・先進的な地域づくりを進めながら、若者から高齢者までが共に安心して暮らせるまちづくりを策定していたではないか！
- ⑫ 高校における職業教育の意義や「公的職業資格取得の道を拡大する。」臨時教育審議会の答申を尊重すべきであり、教育基本法1条から福祉科と専攻科の併設は可能と考えられる。

県教委は「まだ決定したわけではなく、住民の意見を聞いて判断する」との方針を示していますので、皆さんの声・地域の声を、県教委に届けようではありませんか！

**子供や孫のためにも！！諦めてはなりません！！**

- ① 安下庄校舎が不便だからこそ、安下庄に教育の機会均等のために残すべきという意見もありますが、安下庄の地へ、周防大島高校を統合すれば発展するなら理解できますが、県立高校整備改編案からすると、東和・橘地区の限定した地域からの利便性だけに終始し、受験生徒数が減り「島から県立高校が無くなる」のは目に見えています。県教委は、**最低4クラスの編成ができない場合、分校・廃校の基本方針が定められおり**、また、福祉科の生徒は、入学式や卒業式など学校行事があるたびに安下庄校舎に移動を余儀なくされ、現実、周防大島高校に生徒が集まらない理由、原因の一つにもなっています。
- ② 周防大島高校を久賀に置くと、地理的なメリットから、郡外からの通学生の利便性が図られ、特色ある部活動など、更なる展開が期待できます。更に、通学費用等、保護者の経済的負担や生徒の通学時間の軽減、学校間スクールバスの運行に係る経費（約1500万円/年）の縮減を図ることができます。
- ③ 平成10年夏の甲子園出場の際に見られるように、高校の硬式野球部の活躍は、島民の夢であり活性化の大きな力となります。島内の硬式野球に適した野球場は久賀校舎グラウンドしかなく、この場所を中核として活力ある活動や魅力ある野球部にするためには、周防大島高校を久賀の地に統合し、新たな福祉専門学校としての設置を望みます。野球部部員減少の要因は、普通科生徒が練習のための行き帰りに時間を費やすため、練習が出来にくく（今まで自主的に練習していた朝の練習は皆無となった）が、大きな要因であると思われます。伝統ある旧久賀高校野球部から周防大島高校野球部へと引き継ぐためにも、久賀への統合は是非必要です。
- ④ 地域としては「日本一の福祉科」を目指していますが、正式な2キャンパス方式でないため、授業の掛け持ち等により教員に支障（しわ寄せ）が生じ、結果として生徒のための統合になっていない。将来的に安下庄の地への方向性が無くなったのなら、この機会に、久賀の地へ統合しても差し障りなく、これは島民の総意でもある。このことは、周防大島町議会の一般質問でも審議される予定であることも付け加えておきます。
- ⑤ 周防大島町生徒数の変遷（シミュレーション）から、今後の周防大島高校の入学状況を分析すると旧東和・橘地区は55%であるが、久賀25%、大島10%と、極端に低い。島に公立高校を残すためには、地域エゴでなく、グローバルな考え方をすべき時期にきています。
- ⑥ 少子高齢化が進む中で「福祉ニーズ」が増大することは紛れない事実でありますし、平成27年度から、大学や短大・専門学校を卒業しても国家試験を受けなければ介護福祉士資格が取れないことになっています。福祉系高校は、教育体系全体の中で職業教育における重要な柱であり、介護福祉士養成の必要性は更に高まっていることから、福祉科の廃止は絶対反対です。
- ⑦ 福祉系高校に学ぶ生徒の介護福祉士国家試験合格率は49.7%と実務経験者46.2%を上回り、周防大島高校福祉科の場合80%以上の高い合格者を輩出し、福祉を支える重要な人材供給源になっている。
- ⑧ 地域創生科は、行き過ぎた都市集中を是正しようとする内閣府を中心とする総合政策から実現したと承知している。地域創生科設置目的が、福祉科をほんとうに継承する意図があるのなら、福祉科はそのまま残し、地域創生科は、他のカリキュラムを修学する学科でもよい理由となります。福祉科の充実を図り、今後の介護人材キャリアパスとして、介護技術の指導や職種間連携のキーパーソンとなり、チームケアの質を改善する一つ上の養成ルート（専攻科）としての設置を望むことも必要と考えます。

★福祉科を廃止し、島から公立高校が無くなった場合、責任は誰がとるのですか！！

福祉系大学全国で273校、福祉系高校（総合学科含む）304校、その他専門学校多数あり！！